

第10次宮城県職業能力開発計画の基本的方向性(案)

- 1 東日本大震災からの復旧・復興を担う産業人材の育成**
 - 震災からの復旧・復興に資する職業訓練の充実
 - 労働力需給のミスマッチ解消に向けた職業能力開発の強化

- 2 地域産業の振興に向けた職業能力開発**
 - 地域のものづくり産業に資する人材の確保・育成
 - 地域におけるニーズを捉えた公的職業訓練等の実施
 - 企業における人材育成の支援

- 3 県民一人一人が活躍するための職業能力開発**
 - 若者の職業能力開発
 - 女性・中高年齢者の職業能力開発
 - 障害者の職業能力開発

- 4 技能の振興**
 - 小中高校生や若年者に対する技能尊重機運の醸成
 - 熟練技能者の持つ卓越した技術・技能継承の支援

県立高等技術専門校の整備・運営について

【取り組み事項】

(1) 入校生の確保

- 高校に重点を置きつつ、大学等も対象に加えた募集活動の強化
- 関係機関と連携を図り、未就職者や早期離職者を対象にした職業体験を実施し、職業訓練のPRを強化
- ITを有効に活用した募集活動の強化
- 県立高等技術専門校の知名度向上のため、イベントへの効果的な出展

(2) 地域との連携による県立高等技術専門校の役割強化

- 地域の実情を踏まえた訓練の実施
- 企業訪問等における訓練ニーズ把握の強化
- 高校生の職業観醸成のための体験学習実施
- 地域の小中学生等に対し、ものづくりの魅力を発信

(3) ニーズに応じた訓練内容の充実

- (施設内訓練)
- 企業訪問等から得られる訓練ニーズを踏まえ訓練内容を充実
- 技能検定や国家資格などの資格取得を強化
- 大崎高等技術専門校建築科を2年課程に移行
- 石巻高等技術専門校木工科のカリキュラムに伝統工芸の技能習得を追加

(在職者訓練)

- 魅力ある訓練コースの増加
- 効果的なPRの強化

(委託訓練)

- OA, IT, 医療事務, 不動産管理などの訓練を実施
- 地域コンソーシアム事業の成果などを踏まえた新規訓練コースの設定

